

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
1	新規データのプレフィックス変更	<p>新NACSIS-CAT開始以降(2023年1月以降を予定)の新規データについて、全データセット(図書書誌/所蔵、雑誌書誌/所蔵、典拠、参照データ)のプレフィックスの変更を行います。</p> <p>*プレフィックスとは、データID(https://catdoc.nii.ac.jp/MAN2/CM/2_1_1.html)先頭2桁のアルファベットのことで、</p> <p>新NACSIS-CATで使用予定のプレフィックスは「別紙 新NACSIS-CAT使用予定プレフィックス一覧」をご覧ください。</p>	<p>新NACSIS-CAT開始以降、お使いの図書館システムで「新NACSIS-CAT使用予定プレフィックス一覧」にしたがって、新たに付番されるIDが取り扱えるように、ご対応ください。</p> <p>新NACSIS-CAT使用予定プレフィックス一覧(2022/6追記)</p> <p>https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_prefix.pdf</p>	2021年12月時点 2022年6月変更
2	CATP/1.1スキーマバージョン1以前のサポート内容変更	<p>新NACSIS-CATでは、CATP1.1 スキーマバージョン2のサポートを中心とし、より古いバージョン(CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1)へのサポート内容を以下の通り変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索以外のすべての操作がエラーとなる ・検索した場合に上位のスキーマバージョンの値も返戻される <p>返戻される項目は以下の「8 スキーマバージョン定義」をご覧ください。 https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/catp1.1/CATP_1_1_changed.html</p> <p>CATP1.1 スキーマバージョン2をリリースして20年近くが経過しておりますため、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>	<p>上記制約の上で、CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1を継続して使用することはできますが、CATP/1.1 スキーマバージョン1以下のシステムをご利用の機関におかれましては、CATP/1.1 スキーマバージョン2以降への対応についてご検討ください。</p> <p>※ニュースレターでは「図書館システムや各参加機関で必要となる対応」を「アナウンス」の下に掲載しますので、「上記」としてしています。</p>	2021年12月時点
3	RELATIONの提供様式の変更	<p>CAT2020にて提供を開始しましたRELATIONにつきまして、現行システムでは日次のRELATION作業を行っていますが、新NACSIS-CATでは、登録された書誌データに対し、より高頻度でのクラスター化作業を行い、RELATION機能を向上します。</p> <p>高頻度のクラスター化作業に対応するため、新NACSIS-CATでは、グループID(FID)が一意ではなくなります。</p> <p>現行システムでは、一つのFIDのもとに、RELATION対象である書誌IDが追加・削除されますが、次期システムでは、クラスター化作業ごとに、適宜書誌IDが属するFIDが付け替わります。</p> <p>現行のFIDの仕様につきましては、以下のRELATIONの項目をご覧ください。 データベースフィールド定義 https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/jissou_siyo/table_home.html</p>	<p>これまでRELATIONや、RELATIONデータに含まれるFIDを使用したサービスを運用されていた機関におかれましては、システムへの実装方法の変更が発生する可能性がありますので、ご調整いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>	2021年12月時点

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
4	Z39.50クライアント機能における利用可能なデータベースの変更	<p>Z39.50クライアント機能 (https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/z3950/) で検索対象とする、ドイツ語書誌データベースをHBZ (Hochschulbibliothekszentrum des Landes Nordrhein-Westfalen: ノルトライン-ヴェストファーレン州大学図書館センター) からGBV (Gemeinsamer Bibliotheksverbund: 共同図書館ネットワーク) へ変更します。GBVは、1982年に設立されたドイツ7州からなる共同ネットワークでK10plusというユニオンカタログを提供しています。</p> <p>K10plusは6500万件を超える図書、会議資料、逐次刊行物、学位論文、マイクロフィルム、電子資料の書誌情報を保有し、GBVとthe Library Network Southwest Germany (SWB) の1,000機関が参加しており、より幅広い書誌データの利用が可能となります。</p> <p>HBZの提供終了により、参照データセット名「HBZBKS」が新NACSIS-CATへの移行後、使用不可となります。GBVの参照データセット名は図書目録データ「K10PB」、雑誌目録データ「K10PS」を使用予定です。検索語指定可能フィールド等の仕様につきまして、詳細が確定しましたら、クライアントのためのガイドライン案 (https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client_guidelines) でアナウンスを行います。</p>	新NACSIS-CAT開始後、お使いの図書館システムで新たなデータベースがご利用可能となるように、クライアントのためのガイドライン案にしたがって、参照データセット名の変更及び検索語指定可能フィールド等の設定変更を行ってください。	2021年12月時点
5	CATPの「SEARCH」メソッドの制約追加	Database-namesの指定 (https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/catp/chap404.html) において、これまではCATのデータセットとILLのデータセットの混在が許容されていましたが、新NACSIS-CATでは許容されなくなります。	本件は、ほとんどの図書館システムでは問題とならないことを確認しておりますが、本仕様にかかる機能を用いている可能性がある場合は、ご確認、ご対応いただければと存じます。	2021年12月時点
6	Z39.50ゲートウェイ機能のSRUゲートウェイ機能への変更	<p>Z39.50ゲートウェイ機能 (https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/z3950/z3950_gw.html) について、Z39.50 (ISO 23950) がWeb普及以前の古い規格で、技術者を確保し継続的にメンテナンスを行うことが困難となっております。そのため、新NACSIS-CATでは、Z39.50ゲートウェイ機能の提供を停止し、後継規格でありHTTP/HTTPS上で動作するSRU* (Search/Retrieve via URL) ゲートウェイ機能の提供を開始します。</p> <p>*SRUに関する説明は以下をご参照ください： http://www.loc.gov/standards/sru/index.html</p> <p>なお、上記理由から、新NACSIS-CATでのZ39.50ゲートウェイ機能とSRUゲートウェイ機能の並行稼働は予定しておりませんのでご理解のほど、よろしく申し上げます。SRUゲートウェイ機能の申請日につきましては、調整後、以下にて通知いたします。 https://contents.nii.ac.jp/korekara/news</p>	<p>本仕様にかかる機能を用いている場合は、SRUの仕様案を以下にて公開しておりますので、ご参照の上、対応をご検討いただければと存じます。</p> <p>新NACSIS-CAT SRU仕様解説</p> <p>日本語版： https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_sru_jpn.pdf</p> <p>英語版： https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_sru_eng.pdf</p>	2022年6月時点

No.	項目	内容	図書館システムや各参加機関で必要となる対応	確認日
7	エンコーディングをUTF8、UTF8Eのみに変更	<p>データは、国際的なデータ流通をしやすいことや、海外製のパッケージを用いる制約から、システム内で取り扱うエンコーディングを「UTF8、UTF8E」*のみとし、その他のエンコーディングには対応しないことといたします。</p> <p>* UTF8、UTF8Eに関する説明は以下をご参照ください： https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/system/vista.html</p>	<p>本件は、事前に図書館システムベンダー各社へ確認を行い、問題とならない（または対応予定である）との回答を得ています。しかし、図書館システムを買い取り運用されている場合等で、UTF8、UTF8E以外（JIS7等）のエンコーディングを使用している可能性がある場合は、ご調整いただきますよう、よろしく願いいたします。</p>	2022年6月時点